

|       |                      |             |       |
|-------|----------------------|-------------|-------|
| クラス番号 | 337                  | 担当教員名       | 原田 正樹 |
|       |                      | 他専修学生受入上限人数 | 0 名   |
| テーマ   | 「地域福祉」を問う、「地域福祉」をつくる |             |       |

## ゼミナール概要

### 【目的】

「地域福祉」にこだわるゼミです。「地域福祉」とは何かを、各自の興味関心から探求します。人が生活を営む基盤が「地域」です。でも地域には様々な課題が山積しています。どうしたら「共に生きる」ことができる地域にしていけるのか。そんな理想を実現しようと本気で頑張っている人たちがいます。そういった「本物」の取り組みから学ぶゼミです。

### 【内容、方法】

次にかかげる「キーワード」にひっかかるものがあれば、それは地域福祉につながります。地域福祉がよくわからなくても構いません。自分のことばで地域福祉が語れるようにしていきます。

### 【キーワード】

地域共生社会、ケアリングコミュニティ、SDGs、Well-being、ふくし、共生社会、ノーマライゼーション  
社会的包摂、社会的排除、社会的孤立、優生思想、当事者運動、DEI、2040 年問題、人口減少社会  
福祉教育・ボランティア学習、地域福祉、コミュニティソーシャルワーク、コミュニティワーク  
地域福祉計画、包括的支援体制、重層的支援体制整備事業、0 歳から 100 歳の地域包括ケア  
災害ボランティア、社会福祉協議会、NPO、ボランティア・市民活動、社会教育、更生保護

### 【参考文献：原田が執筆している主な著書】

『伴走型支援ー新しい支援と社会のカタチ』有斐閣：伴走型支援の背景、価値と視点を問う。  
『地域福祉ガバナンス』全国社会福祉協議会：地域福祉関係者の新しいガバナンスのあり方。  
『地域福祉の基盤づくり』中央法規：今日的な地域福祉の枠組みと方向性、主体形成の方法。  
『地域福祉援助をつかむ』：有斐閣：地域を基盤としたソーシャルワークと地域づくりの一体化。  
『共に生きること 共に学び合うこと』大学図書出版：福祉教育の原理、内容、方法について。

### 【授業計画】

3 年生前期：各自の興味や関心を深めるためにフィールドワークを実施します。  
夏：フィールドワークを兼ねたゼミ合宿  
3 年生後期：各自のテーマに応じたレポートを作成します。  
春：フィールドワーク  
4 年生前期：新 3 年生との合同研究をプロジェクト型で行います。  
夏：フィールドワークを兼ねたゼミ合宿  
4 年生後期：各自がしっかりと卒論制作に取り組みます。

### 担当教員からのメッセージ

人とのかかわりが好きであること。おいしいものをおいしく食べ、楽しいことを多いに楽しみ、悩むべきことをとことん悩む、そんなゼミにしたいものです。フィールドワークを大切に、現場の「リアル」から学んでいきましょう。訪問先、活動先はみんなで相談して決めます。

原田ゼミは先輩・後輩のつながりを大事にします。福祉の業界は狭いので、先輩たちとのつながりはとても有益です。卒業生たちは異口同音に「卒論指導が厳しかった」と言います。今、書く自信がなくても構いません。必ず書けるようになりますから。ただ卒論を書く気持ちがないと大変かもしれません。ぜひ自分自身に挑戦してみてください。一緒に楽しいゼミを作り上げていきましょう。